

# オアシススケッチ

Oasis sketch

## ● 地元産の手作りみそに挑戦



〈大豆をミンチ機でつぶす参加者たち〉

阿久比産の大豆を使った「手作りみそ講習会」が2月5日、中央公民館調理室で開かれました。講習会は「地産地消」を広めるために、あぐいぐらしの会と愛知県農村生活アドバイザーが講師を務め、毎年この時期に行われています。

参加者たちは、圧力鍋で柔らかくした大豆を、ミンチ機にかけてつぶし、米こうじと塩を混ぜて容器に詰めていきました。常温で保存して発酵させ、半年から1年ほどで食べ頃を迎えるそうです。参加した方は「安心な地元産の大豆を使った無添加みそのファンです。今年はどんな味に仕上がるか待ち遠しいです」と出来上がりを楽しみにしていました。

## ● 健康と幸せいっぱい濃茶をいただく



〈両脇の人に支えられ、抹茶を飲む参加者たち〉

直径約35センチメートルの大きな茶わんで抹茶を回し飲む「大福茶会」が、1月31日に福住老人憩の家がありました。今回で29回目を迎えるこの催しは、西大寺（奈良市）の伝統行事「大茶盛り」を参考に、阿久比風土記の会が毎年この時期に開いています。18人の参加者たちは、顔を覆う巨大な茶わんを両隣に支えてもらいながら、健康や幸せを願い、まったりと甘みのある「濃茶」を味わっていました。初めて参加した方は「念願だった大福茶会に参加できてうれしいです。たくさん濃茶をいただけたので、今年は良い年になりそうです」と笑顔をみせました。

## ● 新たな地域交流の場がスタートしています



〈会話を楽しむ参加者たち〉

地域交流の場「行こうよ！大古根サロン」が11月28日から、大古根公民館で始まっています。ボランティアグループ大古根ふれあい会といきいきクラブの和楽会が中心になり、高齢者や家族連れなどが、モーニングコーヒーなどを飲みながら会話をし、地域でのつながりを深めてもらおうと立ち上げました。その2回目となるサロンが1月28日に行われ、1回目を上回る100の方が訪れました。参加した方は「年齢に関係なく参加でき、地域に住むいろいろな方と話せておもしろかったです」と話していました。

## ● 中学校のことを教えて！先輩



〈先輩からの話を聞く児童たち〉

幼保小中一貫教育プロジェクトの一環で、小学校6年生が抱く中学校生活への不安を少しでも解消しようと、町内の4小学校で「先輩の話を聞く会」がありました。英比小学校では2月9日、卒業を控えた中学校3年生が母校を訪れ、生活や勉強、部活について自身の経験を交えながら話しました。小学生の「おすすめの部活は何ですか」「難しい教科は何ですか」といった素朴な疑問にも、先輩としてしっかり答えました。話を聞いた児童たちは「今日話を聞いて中学校が少し楽しみになってきた」と話し、中学校への良いイメージを膨らませる有意義な時間になりました。